

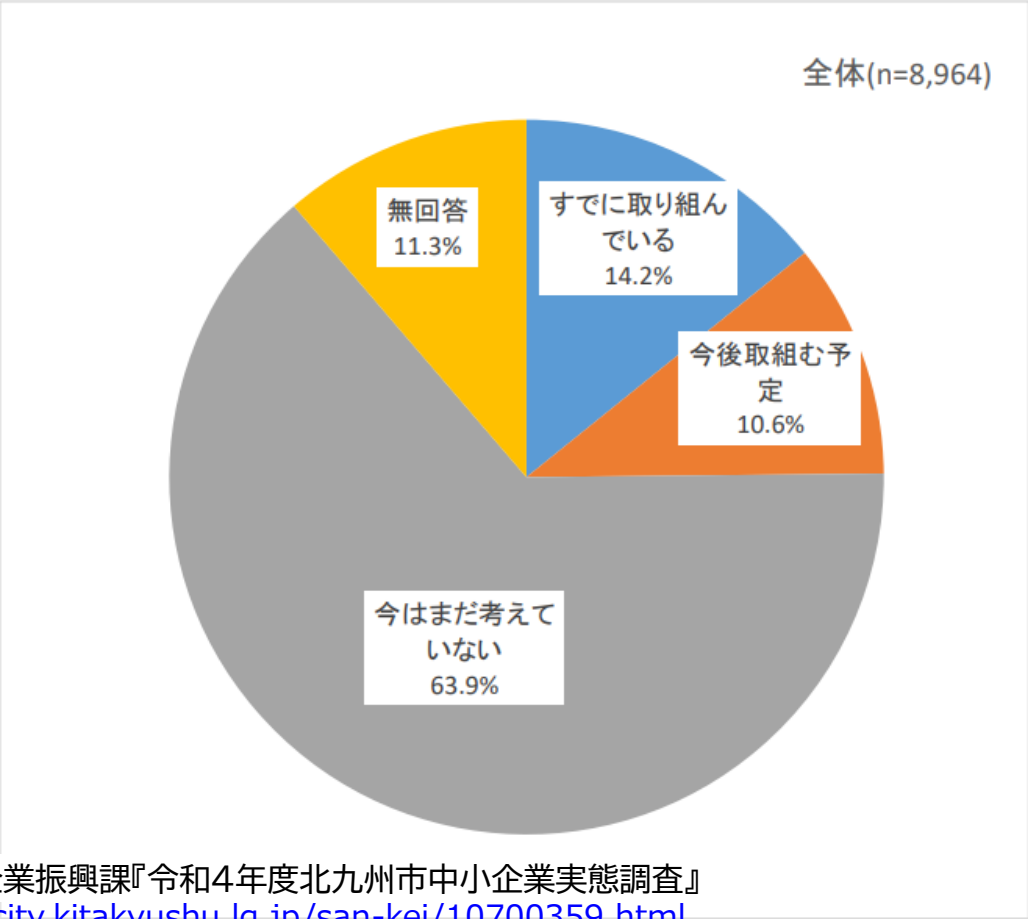
地域DX共創活動助成金 公募説明



北九州市内のデジタル化・ DX取組状況

北九州市内中小企業のデジタル化／DX取組状況①

問 2 5 現在のDX・デジタル化への取組みについてお答えください。



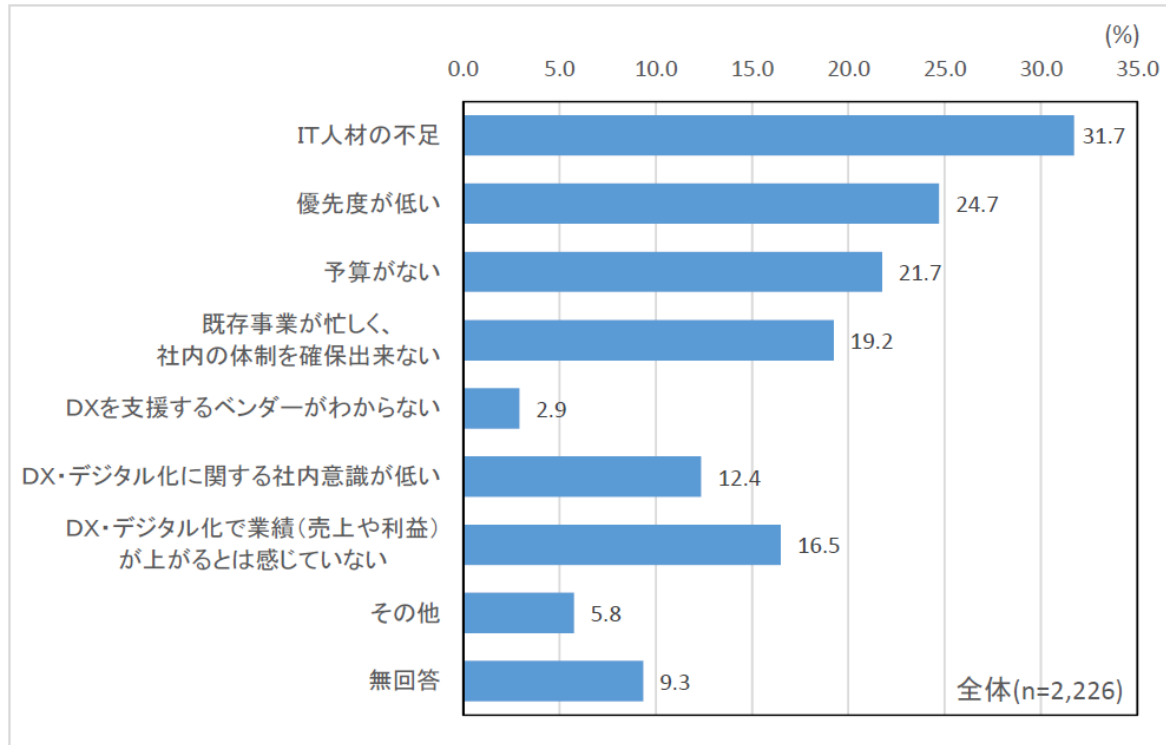
北九州市中小企業振興課『令和4年度北九州市中小企業実態調査』
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/10700359.html>

デジタル化／DXに取り組んでいる企業は一部

		サンプル サイズ	すでに取り組 んでいる	今後取組 む予定	今はまだ 考えてい ない	無回答
上段:実数、下段:%						
全 体		8,964	1,273	953	5,726	1,012
			14.2	10.6	63.9	11.3
業 種 別	建設業	1,608	200	228	1,100	80
			12.4	14.2	68.4	5.0
	製造業	668	108	105	406	49
			16.2	15.7	60.8	7.3
	情報通信業	87	46	11	28	2
			52.9	12.6	32.2	2.3
	運輸業	210	45	28	107	30
			21.4	13.3	51.0	14.3
	卸売業	466	72	79	293	22
			15.5	17.0	62.9	4.7
	小売業	1,492	199	121	973	199
			13.3	8.1	65.2	13.3
	金融業、保険業	104	47	14	36	7
			45.2	13.5	34.6	6.7
	不動産業、物品賃貸業	871	56	55	640	120
			6.4	6.3	73.5	13.8
	教育、学習支援業	259	50	18	166	25
			19.3	6.9	64.1	9.7
従 業 員 規 模	医療、福祉	223	40	45	117	21
			17.9	20.2	52.5	9.4
	宿泊サービス業	10	0	2	6	2
			0.0	20.0	60.0	20.0
	飲食サービス業	864	46	36	635	147
			5.3	4.2	73.5	17.0
	専門・技術サービス業	1,120	274	148	599	99
			24.5	13.2	53.5	8.8
	生活関連サービス業	765	56	32	508	169
			7.3	4.2	66.4	22.1
業 種 別	その他	60	9	6	31	14
			15.0	10.0	51.7	23.3
従 業 員 規 模	5人以下	5,857	657	437	4,098	665
			11.2	7.5	70.0	11.4
	6人～20人以下	1,521	316	306	841	58
業 種 別			20.8	20.1	55.3	3.8
	21人以上	775	269	193	294	19
			34.7	24.9	37.9	2.5

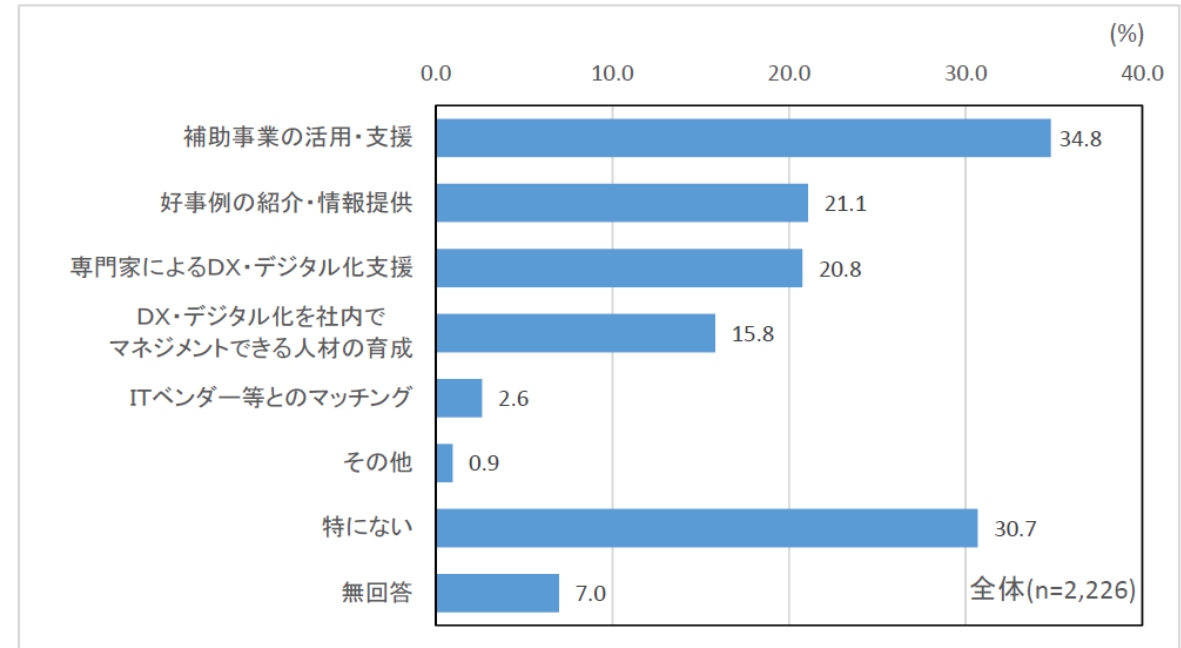
北九州市内中小企業のデジタル化／DX取組状況②

問27 DX・デジタル化を進めるにあたり、障害や課題と感ずることについてお答えください。（複数回答可）



IT人材の不足や優先度、予算を障害と捉える企業は多い

問28 DX・デジタル化を進めるにあたり、必要な支援についてお答えください。（複数回答可）



補助事業制度についての要請は大きい
事例紹介・情報提供や専門家支援のニーズも高い

DXの段階に応じた網羅的な支援施策

事業
変革

実践

準備

機運
醸成



推薦



運営



北九州市ロボット・DX推進センター



北九州市DX推進プラットフォーム



DX推進補助金

計画策定枠	生産性向上・付加価値創出枠	事業変革枠
デジタル技術の活用による成長に向けた中期経営計画等の事業計画策定を補助（最大200万円）	個別の業務や製造プロセスのデジタル化によって、業務の効率化による生産性の向上や付加価値を創出する取り組みを補助（最大200万円）	デジタル技術を活用して事業変革を目指す取り組みを補助（最大500万円）

ロボット導入補助金

FS枠	導入枠
産業用ロボット等導入の事前検証やFSに要する費用の一部を補助（最大200万円）	生産性向上を目的に、産業用ロボット等の導入・更新に要する経費の一部を補助（最大500万円）

人材育成・活用支援

社内 人材 育成	【経営層向け】	【現場向け】
	第4次産業革命への対応力を経営トップ自らが検討できるビジネススクール	取り組みやすいテーマでデジタル、IoTを学ぶ講座
社外 人材 活用	【首都圏人材活用】	【地元大学活用】
	北九州に貢献したい首都圏の人材と市内企業をつなぐ	企業のデジタル化の課題をITに強い地元大学生が解決

セミナー・事例視察会等の開催



課題解決Expo 2024
西日本DX推進フェア2024
West Japan Digital Transformation Promotion Fair 2024



市内先進事例の視察ツアー

センターの活用



※生産進捗見える化システムの展示

出前講義の実施



※実施風景

経済産業省DXセレクション・北九州DX大賞

3. DXセレクション2024選定事業者一覧

グランプリ

#	事業者	本社所在地
1	浜松倉庫株式会社	静岡県

準グランプリ

#	事業者	本社所在地
2	株式会社リノメタル	埼玉県
3	株式会社トーシンパートナーズホールディングス	東京都
4	株式会社西原商事ホールディングス	福岡県
5	山口産業株式会社	佐賀県

2024年準グランプリ：西原商事ホールディングス

2023年準グランプリ：グランド印刷

// 審査員特別賞：ゼムケンサービス

2022年準グランプリ：リョーワ

※3年連続受賞は全国でも北九州のみ

<https://www.meti.go.jp/press/2023/03/20240319005/20240319005.html>



グランプリ：西原商事ホールディングス

準グランプリ：松本工業、戸畑ターレット工作所

**優秀賞：EVモーターズ・ジャパン、クラウン製パン
ケントク、ハピクロ**

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/10100123.html>

北九州市デジタル相談窓口

北九州地域の
中小企業・小規模事業・個人事業の皆様が対象

北九州市によるDX
デジタル化推進事業

IT・Web・デジタル・DXの 専門家派遣します

最大4回
無料

独自の補助金や、関連する公的補助金のご案内・申請サポートも実施

相談事例
Webで公開中

＼こんなご相談をいただいています／



PCの設備更新



社内のテレワーク
環境の整備



セキュリティ対策に
関する相談



デジタル化・DXの
機器導入の相談



オンライン授業や
セミナー環境整備



スマートレジ導入
キャッシュレス化



ホームページの
改修・スマホ対応



SNSを活用した
Web集客の相談



通販サイトの構築
Web広告の活用



関連する補助金の
申請サポート

IT、デジタルツールを活用したペーパーレス化、業務効率化、生産性向上、セキュリティ強化、データ活用、コスト低減、集客力UPなど、個別事例に応じてご相談いただけます。

私たちコーディネーターが、受付から専門家の選定、課題解決までワンストップでサポートします！



上原 啓泰



福岡 勝之



矢野 宏之



井上 研一



中野 貴敏



平畑 輝樹

○専門家派遣開始日程は別途調整となります。 ○ご提供いただいた個人情報は、本事業以外の目的で使用致しません。
○専門家派遣は、支援が必要と判断される場合に、専門の見地から診断や助言を行うものです。

相談の流れ

①お申込み

②初回面談

③専門家選定

④支援実施



北九州市デジタル相談窓口

(北九州市ロボット・DX推進センターワンストップ相談窓口)



093-695-3090

[受付時間:平日9:00~17:00]

<https://ktq-robodx.jp/>

ワンストップ相談窓口 北九州



北九州市デジタル相談窓口は北九州市からの委託により公益財団法人北九州産業学術推進機構が運営しております。

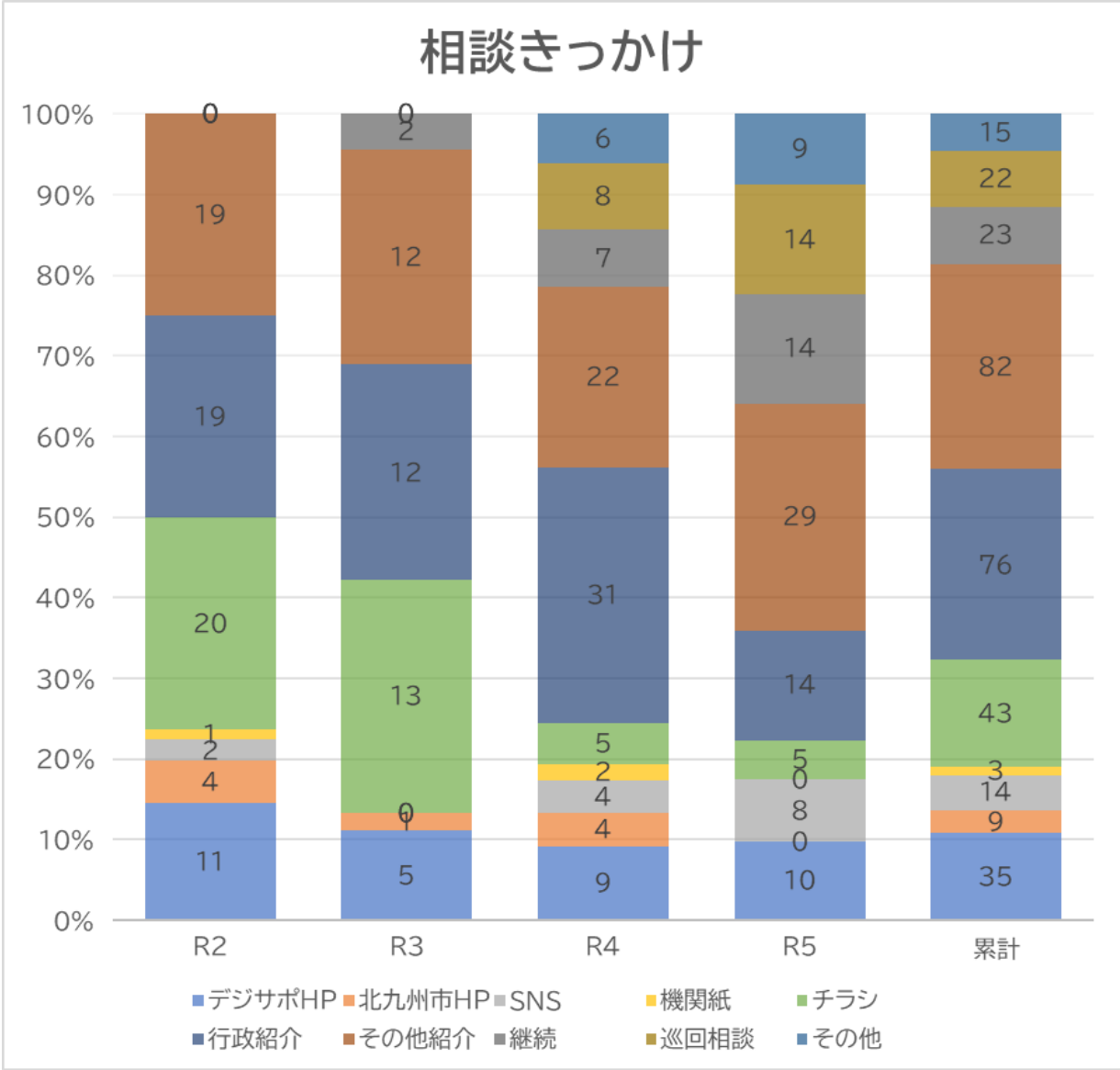
専門家派遣による個社支援

- ・登録専門家80名以上
- ・過去派遣実績1,500回以上

登録専門家70名以上
相談実績350件以上



デジタル相談窓口相談きっかけ



紹介(行政/知り合い企業等)が
ほぼ半数を占める

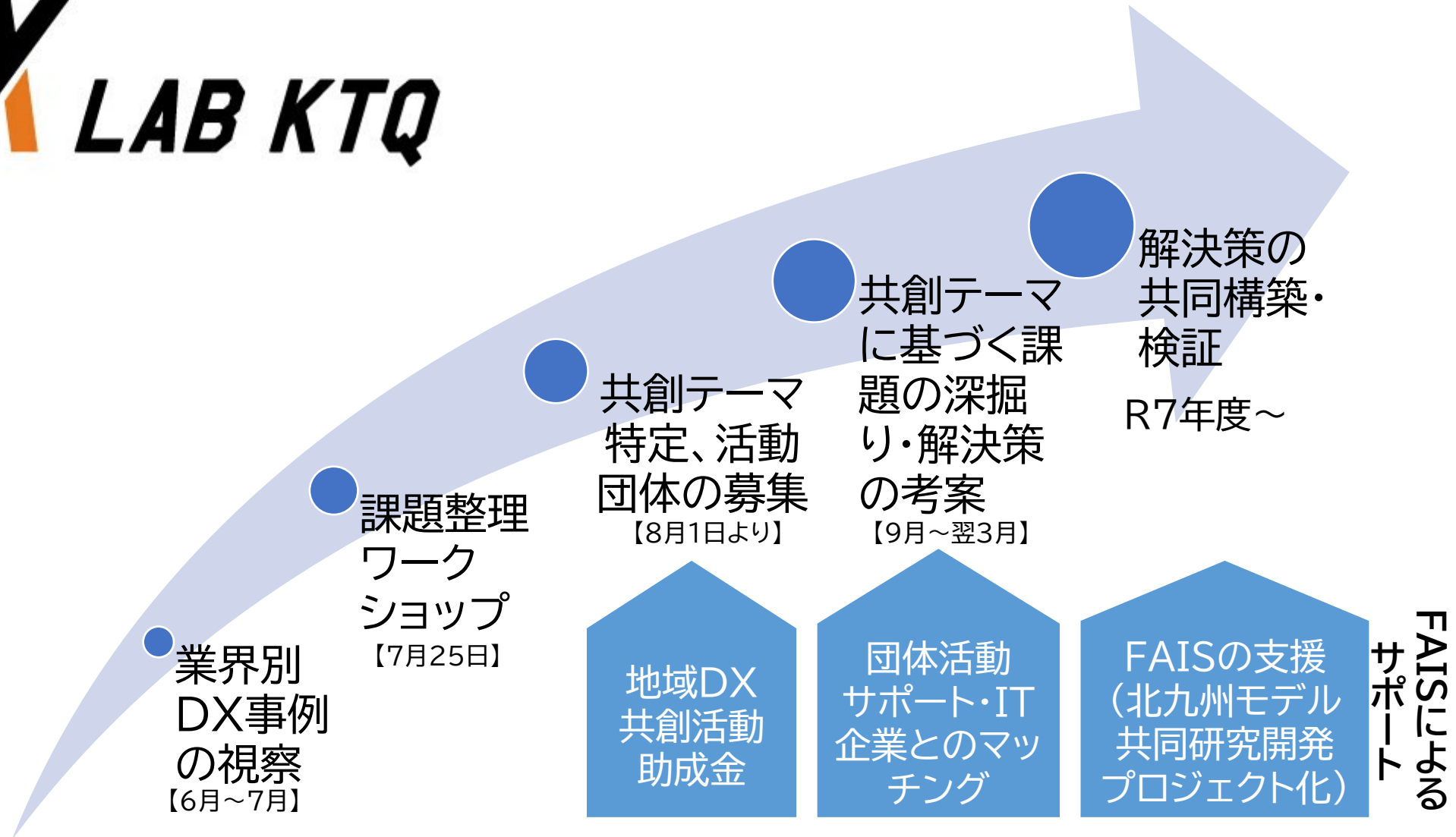


周囲の企業の取り組みを
きっかけにデジタル化・DXを
進める企業も多い



地域DX共創事業について

DX LAB KTQ(地域DX共創事業)全体の流れ



北九州DXツアー概況



日付	視察先	参加
6/12	戸畑ターレット工作所	23
6/13	クラウン製パン	23
6/20	西原商会ホールディングス	22
6/26	グランド印刷	18+α
6/27	岡野バルブ製造	28
7/11	不動産中央情報センター	24

【参加者の声(抜粋)】

- ・ 自社でシステム開発されていて、**自社でも可能なところはシステム開発して個人の業務効率だけでなく全体の業務効率をしたい**とおもった。まずは身近な単純作業からIT部門に相談したい。
- ・ **同業者の社内システム事情は大変興味深く参考になりました。**
- ・ **成功体験を積み重ねていって自分達にも出来るという意識**を持たせることは会社全体で進めて行くためにも良いと思いました。
- ・ DXにおける波及効果の大きさに驚きました。視察先様のような舵きりは簡単なことでは無いと思いますが**事業単位でなくともトランスフォーメーションの重要性や根幹を感じる**ことができました。
- ・ DXを最前線で取り組んでいる企業を拝見し、難しいことに取り組むのではなく、**自分たちの問題は何でそうすれば効率が上がるのかという視点**を持つことの重要性を感じた
- ・ **減らす、生み出すの循環**。普段システムを触る機会がないのですが、自社の基幹システムにもまだまだ改善点があるのか、興味を持って見てみようと考えられました。
- ・ **アイデンティティの確立やブランディング戦略から始まるDX**を見ることができた。
- ・ **価格競争に持ち込ませないような戦略とデジタルの融合**も非常に参考になった。デジタルは手段ということを改めて実感できた。

デジタル化・DXに向けた課題整理ワークショップ概況

【イベント概要】

- 日時: 7月25日(木)14:00-17:30
- 場所: 株式会社YEデジタル社内コワーキングスペース「SAKASSO!」
- 参加者: 28名(運営含む)
- 参加対象者
 - デジタル化・DXに向けて自社の課題を整理したい方
 - 他社との共創でDXを進めたい方

【イベント内容】

- 株式会社kubell様インプットセミナー
- 事務局による視察ツアー振り返り
- 自社課題整理ワークショップ①: 個別ワーク ~ 課題の抽出方法・優先順位づけ・課題の構造 ~
- 自社課題整理ワークショップ②: グループワーク ~ 課題に対する意見交換会 ~
- 交流会



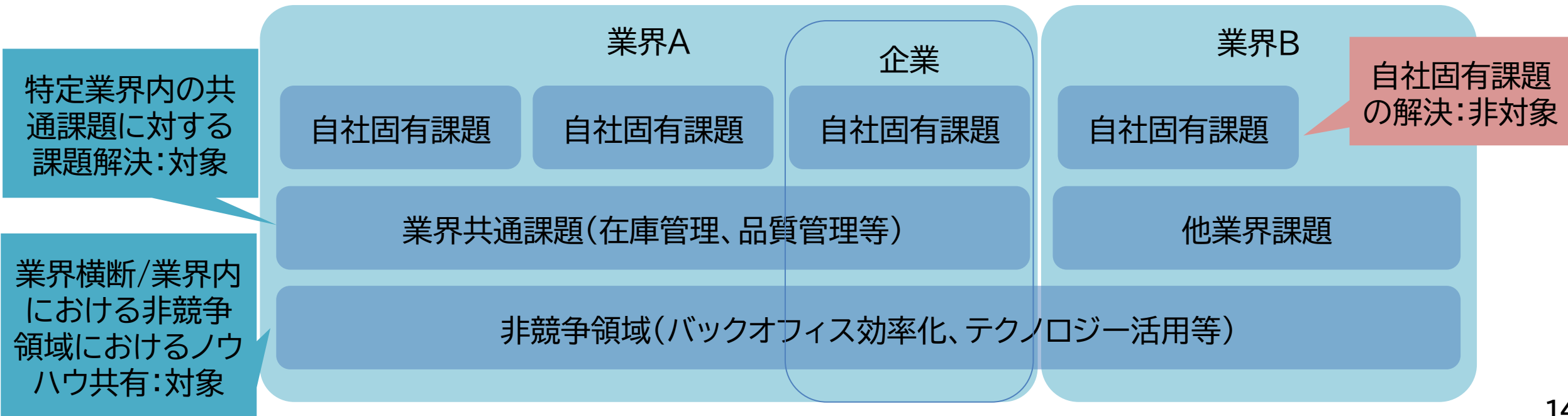


地域DX共創活動助成金について

地域DX共創活動助成金募集要領①

【趣旨・目的】

- デジタル技術の力を活用した新たな地域経済づくり、すなわち地域DXの推進に向けた同業種あるいは異業種他事業者との非競争領域におけるノウハウの共有や共通課題の解決に向けた共創といった活動を支援



地域DX共創活動助成金募集要領②

【助成対象者】

- これから団体を新設する、または設立済の団体で、助成終了後も継続して活動を行う見込のある団体で以下の要件を満たすもの。
 - ① 代表構成員は北九州市内に事業所(本社、支店、営業所、工場等)を有する法人
 - ② 団体構成員は、3者(法人)以上であり、企画・運営に携わる構成員が3者以上であること。ただし、DX共創準備枠の場合はこの限りではない(3者未満での応募も可とする)。
 - ③ 代表構成員が北九州市DX推進プラットフォームに登録済であること。
 - ④ 団体規約等を定めていること。
 - ⑤ 活動計画があり、経費管理を適正に行うことが出来ること。また、活動の記録と成果報告が適切にできること(助成金は、代表構成員の銀行口座に入金します)。
 - ⑥ 宗教活動や政治活動を目的とした団体でないこと。
 - ⑦ 暴力団、暴力団員及び暴力団密接関係者のいずれにも該当しないこと。
 - ⑧ 団体としての活動に対し、今年度、国・自治体等(外郭団体、その他の団体等)から助成や委託を受けていないこと。

地域DX共創活動助成金募集要領③

【助成の対象となる活動と助成額】

- 北九州地域におけるデジタル化・DXに向けて他者との連携により共創を進める活動で、下記の【DX共創準備枠】もしくは、【DX共創実践枠】に該当するもの。

助成種別	対象活動	助成額	助成率
DX共創準備枠	特定の共創テーマのもとに、これから共創相手(構成員)を見つけ、活動を広げていく活動 【例】特定業界におけるデジタル化・DX浸透に向けた共同勉強会や講師を招聘した構成員向けセミナーの企画、運営など ※実践枠に記載した活動例を構成員の拡充後に実施する事も可能ですが、構成員が拡充できず活動が広がらない場合は計画変更が必要となります。	20万円	1/1
DX共創実践枠	特定の共創テーマのもとに、構成員同士の間で共創を実践していく活動 【例】構成員相互の事業所(工場等)の見学会の実施、構成員内での共通課題解決に向けたワークショップの開催など ※更なる構成員の拡充に向けて、準備枠の例に記載した活動等の実施も可とします。	30万円	

※ 親睦や交流のみを目的とした活動等は対象となりません。

※ 対象事業については、相談に応じますので事前に事務局へお問合せください。

検討中テーマに興味のある
北九州DXツアー参加者の
紹介などのサポートを想定

想定する活動団体のテーマ例

- 中小企業におけるノーコードツール活用研究会
 - デジタル相談窓口内における支援や実際の活用事例の共有の場など
- インボイス／電帳法中小企業向けソリューション研究会
 - 業種業態によって濫立するサービスの検証など
- 中小企業に求められるDX人材に関する研究会
 - 共同で人材を受け入れる仕組みの検討など
- サプライチェーン全体のデジタル化研究会
 - 共通EDIや情報のやり取りに関する事例共有など
- 業界別DX研究会(製造、介護、物流等)
 - 各業界毎の中小企業におけるDX/デジタル化の事例や可能性の検討など

地域DX共創活動助成金募集要領④

【対象経費】

- 対象活動にかかる支出額から、対象事業にかかる収入額(事業を実施することにより得られる収入)を控除した額が、対象経費となります。
- また、助成金額に対して、備品費の占める割合は50%以内とします。5万円を超える備品購入時は申請時に見積書提出が必要です。

□ 収入の部

① 対象経費に係る収入(活動を実施することにより得られる収入)

費 目	説 明
参加費	対象活動によるイベント等の参加料等 (記載例)イベント参加費@500円×30人
助成活動への寄附	対象活動に対する寄付等
報 酬	団体の構成員を講師として派遣する場合等に、派遣先から支払われる報酬の見込み (記載例)〇〇講習会講師@2回×5,000円

② 自主財源

費 目	説 明
団体の会費	団体の年会費等、団体の運営費用から活動費を補填する予定の場合に記載
用途を限定しない 寄付	活動が赤字になるため、団体に用途を限定せず寄付された寄付金や、会員企業による負担で活動費を補填する場合等に記載

※対象期間外の支出や食糧費・労務費等は助成対象外となります

■ 支出の部

費 目	説 明
報償費	・講師への謝礼金(品)の費用 ※所得税法、関係法令を遵守すること ※団体構成員への支払いは対象外 ※謝礼額は1時間8,000円まで
旅費・交通費	・講師への旅費、交通費、宿泊費 ・団体から研修参加する場合の旅費は、原則として1名分のみ可
保険料	・イベント保険料 ・その他保険加入費用がある場合は内容等を詳しく記入
需用費	【消耗品費】 ・活動に必要な文具や日用品など 【備品購入費】 ・活動に必要な備品(センサー、設備など)の購入 【印刷製本費】 ・チラシ作成、広報宣伝物の印刷費など 【その他】 ・団体から研修参加する場合の資料代は1名分のみ可
役務費・通信運搬費	・イベント／セミナー開催や展示会への共同出展時等で運搬にかかる費用やモバイルルーター利用代金 ・共同実証などを実施する際のセンサー通信費
使用料・賃借料	・会議室等使用料、駐車場代、借上げバス費用など ※会議室使用料については、同規模の公共施設の利用料を助成の限度とする

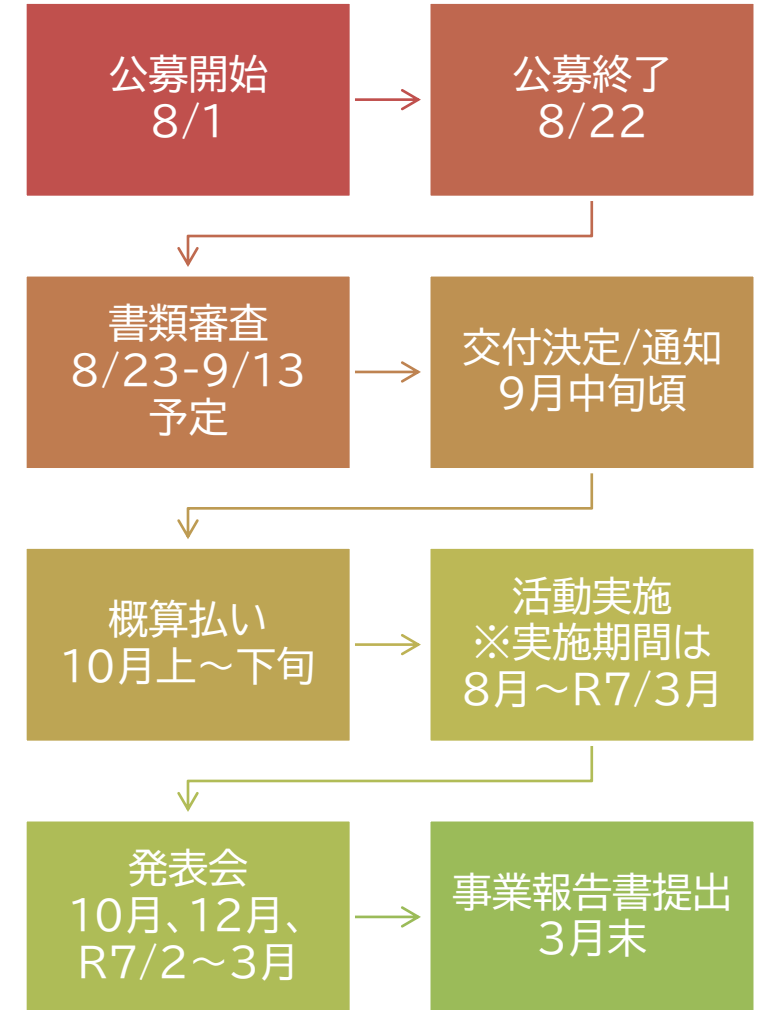
詳細は募集要領をご覧ください

地域DX共創活動助成金募集要領⑤

【助成申請等の流れ】

- ① 募集期間:8月1日～8月22日17:00(必着)
- ② 書類審査:8月23日～9月13日(予定)
 - 事務局で提出書類の内容確認等を行います。
 - 活動計画と助成金使用使途の整合性などの確認を行い、内容に不足や実施上の改善点がある場合は、加筆修正等をご連絡しますので、申請者にて対応を行っていただきます。
- ③ 交付決定／通知:9月中旬頃
- ④ 助成金概算支払:10月上旬～下旬
 - 交付決定額をもとに請求手続きを行っていただきます
- ⑤ 活動実施:～令和7年3月まで
 - 助成対象期間は8月1日から(交付を保証するものではありません)
 - 団体活動に対する伴走も実施予定
- ⑥ 発表会:団体活動のPRや会員募集、団体間の交流を目的に活動期間中に3回程度、対外発表会を実施します。
 - 令和6年10月頃:採択活動テーマ発表
 - 令和6年12月頃:活動中間発表、IT企業とのマッチング
 - 令和7年2,3月頃:期間中活動および来年度活動について発表

※ 代表構成員は参加必須(代理可)
- ⑦ 事業報告書提出:令和7年3月31日(必着)



地域DX共創活動助成金募集要領⑥

【審査基準】

- ① 有意性: デジタル化・DXに向けた活動として意義があるか
⇔ デジタル化・DXに関連しない活動は不可
- ② 共創性: 自社固有の課題解決に留まらず他者との共創で取り組む意義があるか
⇔ 自社単独の課題解決や利益に結び付く活動は不可
- ③ 自走性: 助成制度のみに頼らず今後自走する可能性があるか
⇔ 助成制度が無くなった時点で終了が見込まれる活動は不可

【採択件数(予定)】

- 10件程度

地域DX共創活動助成金募集要領⑦

【提出書類について】

- ① 助成金交付申請書【様式第1号】
- ② 活動実施計画書【様式第1―2号】
- ③ 助成申請額明細書【様式第2号】
- ④ その他、各事業の様式第1号に記載の添付書類
 - ✓ 団体の規約(任意様式)
 - ✓ 団体の名簿(任意様式、ただし構成員の法人名・所在地まで記載されたもの)

※上記とは別に、交付決定後の概算払請求時までに市税滞納がない証明
および暴力団排除照会に関する同意書を提出いただきます

地域DX共創活動助成金募集要領⑧

【その他要件等】

- 代表構成員は申請前に北九州市DX推進プラットフォーム(※)への会員登録を行ってください。
※DXを推進したい北九州市内の企業と、DXの推進をサポートする企業をつなぐために、北九州市が創設したプラットフォームです。(登録、年会費無料):右QRコードより操作手順書へアクセス可能です⇒



【Q&A】

- 自社はIT企業ですが申請は可能ですか？
 - 自社の製品紹介にとどまらず、広く地域内のデジタル化・DX推進に資する取り組みや、IT企業自体のDX(ビジネスモデルの変革)を推進する取り組みであれば申請可能です。
- 取り組みたいテーマは明確なのですが、共に活動してくれる相手が見当たりません。
 - 事務局へご相談いただくほか、北九州市DX推進プラットフォームを活用してマッチングを進めることも可能です。どうしても相手が見つからない場合は、見つけることを活動の一環として含めた計画を策定しDX共創準備枠へ申請してください。
- 他団体とテーマの重複が懸念されます。
 - 活動計画を審査のうえ、同一テーマであっても複数団体を採択することも想定しています。申請前に同一テーマで活動を予定している団体の有無を確認したい場合は事務局までご連絡ください。
- 団体規約にはどのような内容が含まれている必要がありますか？また、様式は有りますか？
 - 団体の名称、団体の目的、団体の活動内容、役員の選出方法、構成員の役割、会計の取り扱いについて記載してください。設立予定の場合は申請段階では案で提出し、交付決定時までに確定させてください。様式は任意です。
- 採択事業の事務局をFAISが担うのでしょうか？
 - 本助成の趣旨は、共創活動へ主体的に取り組む方をサポートすることですので、事務局自体をFAISが担う事は致しません。ただし、ご要望に応じて、団体会合への出席やアドバイス、関係者のご紹介、FAISが保有する場の活用などのサポートは実施予定です。

申請・お問合せ先

(公財)北九州産業学術推進機構
ロボット・DX推進センター DX推進部

担当:松本、糸川

E-Mail: iipc@ksrp.or.jp

※メールでの申請・お問合せをお願いいたします。
(ご相談に際しては別途WebMTG等で承ります)